

## 組合長就任のご挨拶

宮城県内の田植えはほぼ終了して、田んぼには整列した若苗が風になびく季節となりました。

私は、この度5月19日付けをもちまして宮城県市町村職員退職手当組合の組合長に就任致しました。

東日本大震災から6年2ヶ月余りが経過して復興と創生の時期に入りましたが、県内被災地の多くの方々が未だ不自由な生活を強いられている状況にあります。こうした中、地域の発展と住民の健康と福祉の維持向上にご尽力されている市町村職員の皆様には、深く敬意を表すものでございます。

さて、人事院は去る4月19日に平成28年に実施した退職給付の官民比較調査の結果と見解を公表しました。調査の結果、民間が24,596千円、公務が25,377千円で、公務が781千円(3.08%)上回ったことから、人事院は官民均衡の観点から、退職給付水準について見直しを行うことが適切との見解を述べております。

前回は、公務の退職手当の引下げで官民格差を是正した経過がありますので、組合では各方面から情報を収集して、市町村に適宜連絡する等の対応をして参ります。

こうした課題が山積している中、もとより微力ではございますが、市町村職員が安心して職務に専念できるよう、組合の健全な運営のため鋭意努力してまいりますので、一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶と致します。

平成29年5月

宮城県市町村職員退職手当組合

組合長 佐藤 仁

(宮城県南三陸町長)